

地域観光を目的としたソーシャルビジネス-地域と大学の融合

浜松学院大学 現代コミュニケーション学部

わたぼうしブランドデザイン

指導教員：津村公博、田島喜代美

参加学生：佐々木皓成、原健太、山本大雅 他 15人

1. 要約

天竜区春野町の中山間地域の勝坂集落、いわゆる過疎地域での人口の減少と高齢化の進展が著しい。勝坂集落は、かつて林業で栄え一時は50世帯を擁し、集落内には小学校（現在廃校 旧勝坂小学校）が存在した。勝坂集落には、400年に渡り伝統芸能として勝坂神楽が伝えられている。

本事業では、学生市民団体「わたぼうしブランドデザイン」が事業及び運営主体として、勝坂集落における「観光地域づくり」を目的としたツーリズムを構想し、事業性の高いモデルの構築を目的とした。

2. 研究の目的

勝坂集落に位置する竜頭荘から北西へつながる竜頭山への古道を踏査し、整備する。整備の過程をツアー化して、さらなる観光地域づくりによる地域活性化へ新たな観光商品を創出し、自主的で持続性がある事業に改善したビジネスモデルを再構築する。

3. 研究の内容

「観光地域づくり」をテーマとして4年間に渡り、勝坂集落の魅力を発信するツアーを実施してきた。表1にあるように、これまでのテーマを発展させ、開発してきた観光商品を改善させていく。また、新たに事業の運営を支援する地域イノベティブプラットフォームを構築する。プラットフォームの中で、勝坂集落のファンを作り、ボランティアサポーターを募集し組織化する。ツアー商品としては、「勝坂古道の再生」を「観光地域づくり」の柱とする。

これまでのテーマと商品の変遷 (表1)

1年目	耕作放棄地の開墾	蕎麦 (一般種)				
2年目	耕作放棄地の開墾 サステナブルツーリズム	伝統芸能 勝坂神楽 ツアー	蕎麦 (勝坂産固定種)			
3年目	サステナブルツーリズム	伝統芸能 勝坂神楽 ツアー	蕎麦 (勝坂産固定種)	伝統野菜 (太きゅうり、 春野すみれ菜)		
4年目	サステナブルツーリズム 事業性の高いモデルの構築	伝統芸能 勝坂神楽 ツアー	蕎麦 (勝坂産固定種)	伝統野菜 (太きゅうり、 春野すみれ菜)	竜頭荘 古民家再生 ツアー	
本年度	サステナブルツーリズム 事業性の高いモデルの構築 地域イノベティブプラッ トフォーム	伝統芸能 勝坂神楽 ツアー	蕎麦 (勝坂産固定種)	伝統野菜 (太きゅうり、 春野すみれ菜)	竜頭荘 古民家再生 ツアー	<u>勝坂古道 再生ツアー</u>

下線部は、本年度の新たなテーマ及びツアー商品

4. 研究の成果

① 地域イノベティブプラットフォーム（表2）

(1)	当初の計画	募集定員 100 人
(2)	実際の内容 判定：B	【理由】大学が遠隔授業となり、大学施設利用の禁止及び学外での全ての地域活動が中止となった。そのため、勝坂集落の活性化を目的としたボランティアサポーターを募集する仕組みを作った。
(3)	実績・成果と課題	ボランティアサポーターを現在募集中である。
(4)	今後の改善点や対策	1. 新型コロナ禍において、勝坂ボランティアサポーターの募集の方法を再考する必要がある。 2. 天竜高校、天竜区二俣「グローバー通り商店街」、春野町「春野町の風」等と地域イノベティブプラットフォームを再構築していく。

② 勝坂古道環境整備・体験型活動（表3）

(1)	当初の計画	12 回
(2)	実際の内容 判定：B 1 回のみ実施	【理由】通常の現地ツアーは、新型コロナウイルスのため大学が遠隔教育に踏み切り、大学施設利用が禁止及び地域での活動の禁止により実施できなかった。 【需要動向の調査】浜松・浜名湖ツーリズムビューロー：今後の観光需要の回復に向けて、オンライン体験・バーチャルツアーのオンラインツアーの需要を確認した。 「浜名湖おんぱく」：オンラインツアーの準備とツアー型コンテンツ、ライブ配信等を学んだ。
(3)	実績・成果と課題	1. クラフトルームの整備、看板・椅子・テーブルの製作 ① 活動拠点クラフトルームとして竜頭荘を整備 ② 勝坂古道の環境整備にかかわる看板 ③ 休憩用設備（椅子やテーブル） 第1回 11/1 実施の「勝坂古道探検トレッキング調査団」において製作に着手し、その後に予定していた3回（第2回 11/22、第3回 12/6、第4回 12/23）が中止となっている。 2. プロモーション及び参加者募集：ツアー商品の販売を昨年度実施した浜松・浜名湖ツーリズムビューローとの代理 契約（浜松・浜名湖ちよい旅）を中止し、オンラインツアーサイトから募集を実現できた。 3. 勝坂オンラインツアーの付加価値（伝統文化：勝坂神楽、地場産品）を設定し、勝坂神楽保存会、春野の栗崎園、月花園からツアー実施の協力を得ることができた。 4. 首都圏から 15 人が参加
(4)	今後の改善点や対策	大学内にオンラインツアーを配信するスタジオを作り、勝坂からライブ中継配信を実現した。しかし、中山間地域である勝坂集落は、集落の場所により Wifi 環境が不安定であり、リハーサルでは中継配信が数度に渡り遮断されたが、モバイルルーターに切り替えて対応できた。

③ 勝坂古道整備計画書づくり・勝坂古道マップの作成（表4）

(1)	当初の計画	勝坂古道の踏査及び勝坂古道マップ作成
(2)	実際の内容 判定：B 一部作成	【理由】大学が遠隔授業となり、大学施設の利用中止及び地域での活動全てが中止となった。 「勝坂オンラインツアー」の変更に伴う機材購入により財政的な問題が生じた。対面式ツアー実施のため、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金に6月に申請し（事業名：「勝坂古道探検トレッキング調査団」）採択された。「勝坂古道探検トレッキング調査団」の実施には、ふじのくに地域・大学コンソーシアムから後援を得た。（ポスター・チラシ資料参照）
(3)	実績・成果と課題	1. 勝坂古道踏査：3回

		<p>勝坂古道への旧登山口の位置を確認できた。 勝坂古道から山頂までの全ルートの踏査することができた。 勝坂古道前半のルートの山道が細く、非常に荒れていることが確認できた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 勝坂古道整備の計画 3. 参加児童数：8人 4. 古道のマップ作りの活動：iPadにより勝坂古道マップ作成
(4)	今後の改善点や対策	勝坂自治会の助けを借りながら、勝坂古道のルートの登山口を確認できた。竜頭山登山口付近の整備は終了したが、全行程の整備には令和3年も引き続き実施する必要がある。

5. 地域への提言

勝坂自治会は、わたぼうしグランドデザインの活動に理解があり、実施した2回のツアーにも非常に協力的であった。オンラインツアーの「郷土の魅力にふれる旅 in 勝坂」では、勝坂自治会会長が勝坂の魅力を伝える講義録画データにしてツアー当日に配信した。また、現地体験ツアー「勝坂古道探検トレッキング調査団」では、開村式に参加し、参加した子どもと保護者の前で旧勝坂小学校や勝坂の魅力を述べた。また、ツアーでは、地域への提言としては、今後も学生の活動への協力と学生と地域自治会との定例会の継続を望みたい。

6. 地域からの評価

本事業は、事業構想段階から地域住民と相談しながら進めてきた。本事業の実施については、勝坂自治会と連携・協力は不可欠である。勝坂自治会の地域住民の多くは、小学校時代の遠足で、勝坂古道から竜頭山を登頂した経験がある。そのため、彼らに対する竜頭山へのルートの聞き取り調査を実施した。それにより秋葉古道につながる勝坂古道の歴史や役割について理解することができた。わたぼうしグランドデザインの参加学生は、これまで地域活性化の活動が、勝坂自治会の人たちからの「子どもが、勝坂の自然に触れて、学んだり遊んだりする楽しそうな声をもう一度聞きたい」という期待に応じたい気持ちが大きい。

オンラインツアー「郷土の魅力にふれる旅 in 勝坂」に参加したツアー客に、地域の物産品の紹介と提供（月花園「あおねり」/栗崎園「お茶スティックタイプ」）した春野町で創業100年を超える老舗の名店である両店は、春野町のNPO法人「春野の風」に所属し、春野地域の活性化を目的として活動している。「春野の風」からわたぼうしグランドデザインに対して、春野地域のイベント・行事への協力の要請が新たにあり、積極的に応じて行きたい。

7. まとめ

わたぼうしグランドデザイン学生は新型コロナウイルスの蔓延により、2度の遠隔授業を経験した。本事業の遂行に関しては、環境の変化に応じた対応が求められた。結果的には、オンラインツアー「郷土の魅力にふれる旅 in 勝坂」を1回、対面式ツアーを1回実施することができた。オンラインツアー「郷土の魅力にふれる旅 in 勝坂」では、大学内にメディア・スタジオを作り、メインスタッフを置き、現地スタッフと中継したライブ配信を実現させた。今後は、現地体験ツアーと併せて、コロナ禍においてもオンラインツアーも柔軟に実施できる基盤を整備する。勝坂古道の踏査および保全・修復計画および整備に関わるツアーについては、当初計画とおり、令和2年度から順次、長期に渡り実施する予定である。

最後に、本事業のテーマであるソーシャルビジネスについて述べる。ソーシャルビジネスとは、寄付金などの外部資金に頼らず、自主事業により事業収益を上げることで、継続的な社会的な活動を可能にすることである。オンラインツアー「郷土の魅力にふれる旅 in 勝坂」は、首都圏からの参加及びその中には、外国人の参加が複数あった。参加者のオンラインツアーのアンケート調査によると、参加者はほぼ全員から中山間地域の伝統文化や慣習に興味があること回答を得た。また、参加者の多くが、現地ツアーにも参加したいと回答した。現地に行く前にオンラインツアーで体験し、その体験を現地での実際の体験ツアーの参加へとつなげるビジネスモデルの検討をしていく。

参考資料

勝坂オンラインツアー「郷土の魅力にふれる旅 in 勝坂」 / 現地体験ツアー「勝坂古道探検トレッキング調査団」



オンラインツアーの様子「郷土の魅力にふれる旅 in 勝坂」



スタジオ配信(大学)



中継配信(勝坂茶屋)



中継配信(神事)



中継配信(神事)



スタジオの様子



録画配信



録画(栗崎園取材)



中継配信

現地体験ツアー「勝坂古道探検トレッキング調査団」の様子



自治会会長と記念写真



地図作成



地図作成



地図作成



飯盒炊飯



トレッキング



トレッキング



トレッキング